

## 第2次おい町未来創生戦略 令和3年度事業実績一覧

戦略分類	事業No.	戦略事業名	予算事業名	事業概要	令和3年度実績額(円)	目標値(KPI) (令和6年度末)		達成状況 (令和3年度末)		達成(100%)◎ 概ね達成(70%以上)○ 未達成(70%未満)△	内部評価	シートページ
						数値	達成率	数値	達成率			
1 子育て応援	①	妊産婦支援事業	母子保健事業(助産師配置・産後ケア)	助産師訪問や授乳・育児相談など妊産婦の心身のケアや育児サポートを実施(助産師訪問19組、産後ケア延べ3人)	335,000	妊娠出産に満足している者の割合	83.7%	79.1%	94.5%	○	助産師による訪問活動、相談事業を通じた育児指導、産後ケア事業での育児相談・休息機会の提供が妊産婦の満足度につながっており、KPIの達成に向けて順調。今後も、継続して心身のサポートを実施していくことが重要	1
			母子保健事業(マザーズカフェ)	マザーズカフェの開催(産後ヨガ・ベビーマッサージ・歯みがき講座延べ72人)	53,255	マザーズカフェ利用者数	年間延べ90人	年間延べ72人	80.0%	○	・コロナ禍において、子どもと遊んだり、親同士が交流したりできる大切な機会として利用されている方も多く、令和3年度は感染対策に心がけた上で、可能な限り開催しKPIは概ね達成している。 ・今後も、妊婦や未入園児の親が気軽に参加できるように新生児訪問等で積極的に周知していくことが重要	3
	②	子育て世代に優しい町PR事業	子ども家族館管理運営事業(イベント実施)	子育て世代を対象とした相談会やイベントの開催	215,000	イベント入込数	年間延べ23,500人	年間延べ948人	4.0%	△	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大規模イベントを実施できなかったことにより実績がKPIを下回っているが、今後状況が改善するものと考えKPIは維持する。イベントなどでのPRを移住・定住につなげていくための取組が重要	5
	③	保育料負担軽減事業	大飯地区認定こども園運営委託等事業(保育料軽減)	保育料の軽減と、第2子以降の保育料や3歳から5歳児の副食費を無償化(保育料軽減)	328,835,150	入園率	90.0%	91.7%	101.9%	◎	保育にかかる経済的な負担を軽減することで子どもを預けやすい環境が整った結果、KPIの達成に向けて順調。今後も、継続して保育内容の充実に努めていくことが重要	7
			42,139,128		90.0%			100.0%	9			
	④	にこにこ赤ちゃん応援事業	にこにこ赤ちゃん応援事業	子育て世帯のおむつ購入への助成	2,967,393	-	-	-	-	-	令和3年度の支給人数は115人(子の数:131人)であり、乳幼児を養育する保護者への経済的支援の観点から重要な事業となっている	11
			予防事業(小児インフルエンザ予防接種費助成)	小児インフルエンザ予防接種に要する経費の一部を助成	1,168,500	-	-	-	-	-	接種費用の一部を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図ることができている	13
	⑤	子育て支援医療費助成事業	子育て支援医療費助成事業	高校生世代(18歳以下)までの医療費を助成(延べ11,750件、25,568千円)	26,376,899	-	-	-	-	-	子育て世帯を経済的に支援するための重要な施策であり、今後も継続して取り組んでいく必要がある	15
	⑥	妊婦等医療費助成事業	妊婦等医療費助成事業	妊産婦の医療費を助成(延べ533件、2071千円)	2,094,600	-	-	-	-	-	妊婦及び産婦にかかる医療費の助成を通じて、子育て世帯を支援していくために町が独自に実施している施策であり、今後も継続して取り組んでいく必要がある	17
	⑦	高等学校等通学費支援事業	高等学校等通学費支援事業	高等学校等への通学に要する費用の一部を助成	6,729,800	利用率	84.0%	89.5%	106.5%	◎	・令和3年度はKPIを達成しており、子育て家庭の経済的なサポートにつながっている ・小浜線の乗客数を増やす観点からも重要な取組として、引き続き、周知・広報活動を実施していくことが重要	19
⑧	進学サポート事業	進学サポート事業	大学生等の保護者を経済的に支援し、かつ町の情報を発信	34,670,260	-	-	-	-	-	修学意欲のある学生および保護者を経済的にサポートする町独自の制度であり、今後も継続的に学生等への情報提供など繋がり維持する取組を行い、Uターンなどに繋げていくことが重要	21	
⑨	不妊治療費助成事業	母子保健事業(不妊治療)	不妊治療に要する経費の一部を助成	615,472	-	-	-	-	-	不妊治療を受けている夫婦の経済的な負担を軽減し、治療機会の増加につなげる重要な事業であり、今後も制度の周知に努めていく必要がある	23	
2 若者仕事	①	一次産業スタート支援事業	一次産業スタート支援事業	一次産業体験事業の実施などによる新たな一次産業従事者の掘り起こしと支援	3,466,614	新規就業者数	累計10人	累計7名	70.0%	○	・新型コロナウイルス感染症の影響で、一次産業体験事業の実績は厳しいものの、別の取組の成果として新規就業者があり、概ねKPIを達成している ・大学等へのPR活動の他、様々な媒体を利用して一次産業体験事業の周知を図るなどにより一層の事業進捗を図ることが重要	25
	②	「お～い★さかな君」発掘・育成事業	「お～い★さかな君」発掘・育成事業	新規漁業従事者の支援	1,040,380	新規就業者数	累計10人	累計8人	80.0%	○	KPIの達成に向けて順調に推移している。今後も、漁協および水産事業者などと連携をとりながら一層の事業進捗を図ることが重要	27
	③	特産品開発・販売促進支援事業	特産品開発・販売促進支援事業	地元産品を活用した特産品開発や販路拡大の支援	1,289,625	商品開発数	累計9件	累計6件	66.7%	△	・コロナ禍以前のような販売促進活動ができておらず、顧客のニーズ等を商品開発に繋げる機会が結果的に少なかったことから実績が目標値を下回っている ・設備導入等への支援は8件で令和2年度から倍増しており、生産者の意欲は引き続き高いものと思われる。アフターコロナに向けてKPIは維持するとともに、継続的に支援に取組むことが重要	29
	④	起業促進支援事業	起業促進支援事業	新規起業への助成	46,580	起案件数(事業活用による累積)	累計30件	累計14件	46.7%	△	・実績が目標値を下回っているが、令和4年7月に「SEE SEA PARK」がオープンし、起業を希望する方がチャレンジしやすい環境が整うこととなるためKPIは維持する ・チャレンジショップ棟に入居している方について、2年間のチャレンジ期間が終了後の本格的な起業に繋げるべく、支援制度の活用や創業支援セミナーへの参加を促していくことが重要	31
	⑤	チャレンジショップ整備事業	チャレンジショップ整備事業	チャレンジショップ棟整備工事、施設周辺整備工事等	984,727,139	-	-	-	-	-	-	33

## 第2次おい町未来創生戦略 令和3年度事業実績一覧

戦略分類	事業No.	戦略事業名	予算事業名	事業概要	令和3年度実績額(円)	目標値(KPI) (令和6年度末)	達成状況 (令和3年度末)		達成(100%)◎ 概ね達成(70%以上)○ 未達成(70%未満)△	内部評価	シートページ
							数値	達成率			
2 若者仕事	⑥	道の駅うみんぴあ大飯賑わい創出・ブランド力推進事業	うみんぴあ大飯事業(イベント委託)	うみんぴあ大飯での賑わい創出・ブランド力向上イベントの開催	3,897,500	売上額 年間 200,000千円	年間 153,466千円	76.7%	○	・目標通りの来客数を確保するまでには至っていないが、前年度に比べ新型コロナウイルス感染症の影響は少なかった。(対前年比+7.6%) ・今後も、近隣地域からの集客やリピーターの確保などにつながるような情報発信や賑わい創出イベント等を実施していくことが重要	35
	⑦	産業団地造成事業	企業振興対策事業	・産業団地の造成工事 ・起業立地助成金	302,431,335	利用企業数 累計4件	0件	0.0%	△	産業団地の造成工事が令和4年度末に完了する予定であり、KPIは維持する。販売価格を算定し、できる限り早く本格的な企業誘致に取り掛かることが重要	37
	⑧	名田庄トレイルコーディネート事業	登山道維持管理事業	ロングトレイルコースの整備、イベントの開催等による観光誘客	9,020,000	ビジターセンター売上額 83,449千円	52,492千円	62.9%	△	各施設とも令和4年度初めの観光入込客数は増加傾向にあるため、KPIは維持し、感染対策を徹底しながらトレイルツアーを実施するなど、ウィズコロナにおける取組やアフターコロナを見据えた情報発信や運営組織づくり、ガイド育成などを進め令和6年度末の目標達成につなげていくことが重要	39
3 若者活力	①	おい若者まちづくり塾開催事業	おい若者まちづくり塾開催事業	若者まちづくり塾の開催(メンバー会議を2回開催)	1,042,254	参加者数 累計800人	累計654人	81.8%	○	・令和元年までのおおい町未来仕掛け人会議や、令和2年度からのまちづくり塾の活動を通じて、まちづくりに関わった住民の数は増えており、KPIの達成に向けて順調 ・今後は、更なるメンバーの発掘や自主的・主体的に活動を行ってもらうための機運の醸成が重要	41
	②	まちづくり政策コンテスト開催事業	官学連携事業	まちづくり政策コンテストの開催、官学連携の促進	3,962,406	政策提案数 累計70件	累計41件	58.6%	○	令和3年度末までに達成すべき提案数は累計約50件のところ、令和3年度はリモートにも関わらず7チームがコンテストに参加し、提案の累計41件(達成率8割)となっており注目度が高い施策と考えられる。今後は、提案数だけでなく、交流機会の創出や事業化にも焦点をあてていくことが重要	43
	③	地域おこし協力隊支援事業	地域おこし協力隊募集・管理事業	地域おこし協力隊を活用した地域活性化の支援及び隊員の定住促進	532,100	協力隊退任後の定住人数 累計6人	累計4人	66.7%	○	・毎年度、任期満了した隊員が定着しており、KPIの達成に向けて順調と考える ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和2年度～令和3年度は町内外のイベント等が減少しており、そういった状況に左右されない業務の確保など、受け入れる側の準備が重要	45
	④	ふるさと体験事業	移住・定住・交流推進事業(ふるさと体験事業)	町民との交流を伴う体験に係る交通費の助成(2件9人に助成)	38,250	おいサポーター登録者数 500人	79人	15.8%	KPIの見直し	体験・交流活動が減少し実績が目標値を下回っている。KPIを見直すとともに、新型コロナウイルス感染症が終息したタイミングで、連携協定を締結している大学や、まちづくり政策コンテストの参加大学等に向けて制度をPRしていく必要がある	47
	⑤	一次産業体験事業	一次産業スタート支援事業	一次産業の体験に対する受入れ支援	3,466,614	体験者数 年間延べ 200人	年間延べ 49人	24.5%	△	新型コロナウイルスの感染拡大の影響で参加者が減少しており、実績が目標値を下回っているが、令和4年度以降の状況改善を見据えてKPIは維持する。今後、アフターコロナに向けた受入れ体制を構築していくことが重要	49
	⑥	スポーツ・教育合宿推進事業	総合運動公園管理運営事業(合宿施設整備)	合宿施設整備に係る実施設計等	68,247,034	合宿所利用者数 年間延べ 8,000人	年間延べ 1,109人	13.9%	△	新型コロナウイルス感染症拡大の影響でスポーツ合宿が制限されたことから、実績が目標値を下回っているが、令和4年度以降の状況改善を見据えてKPIは維持する。アフターコロナに向けて、多くの利用者呼び込みのための魅力的な施設を整備していくことが重要	51
			観光振興対策事業(合宿補助)	スポーツ・教育合宿の誘致と学生合宿への補助	592,500	事業利用者数 年間延べ 5,500人泊	年間延べ 484人泊	8.8%	△	・新型コロナウイルス感染症の影響によるキャンセル等も多く、実績が目標値を下回っているが、社会体育施設の利用者は前年度よりも増加しており、令和4年度以降の状況改善を見据えてKPIは維持する ・施設や支援制度はもとより町の魅力自体を積極的にPRしていくことが重要	53
	⑦	若者出会い交流応援事業	若者出会い交流応援事業	若者出会い交流の推進	117,317	参加者数 累計340人	累計207人	60.9%	△	・令和3年度は、民間で開催するカップリング交流パーティーが開催できなかった等の影響により実績が目標値を下回っている ・アフターコロナに向けてKPIは維持するとともに、感染症対策を考慮したイベントの開催形式を模索しながら、魅力的なイベントを企画するなど参加人数を増やすための取組が重要	55
⑧	まちづくり団体・集落ぐるみチャレンジ応援事業	まちづくり団体支援事業	まちづくり団体の活動を支援	1,766,770	活動団体数 累計15団体	累計12団体	80.0%	○	事業のPRや状況に応じた制度の見直しを図った結果、KPIの達成に向けて順調。コロナ禍においても活動ができるように各団体をサポートしていくことが重要	57	
		おい町集落ぐるみ町民指標活動支援事業(チャレンジ事業)	まちづくりに取り組む集落の挑戦を支援	300,000	チャレンジ件数 累計35件	累計18団体	51.4%	△	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、参加集落数が想定よりも伸び悩んでおり目標達成に向けて厳しい状況であるが、町の活性化につながる重要な取組であり、状況が改善するものと考えKPIは維持する ・応募しやすい枠組みを検討するとともに、これまでチャレンジ事業に参加したことがない集落に対して積極的に呼び掛けていく必要がある	59	

## 第2次おい町未来創生戦略 令和3年度事業実績一覧

戦略分類	事業No.	戦略事業名	予算事業名	事業概要	令和3年度実績額(円)	目標値(KPI) (令和6年度末)	達成状況 (令和3年度末)		達成(100%)◎ 概ね達成(70%以上)○ 未達成(70%未満)△	内部評価	シートページ	
							数値	達成率				
4 活力生活	①	おいの空き家は良い空き家！ どんどん使って！ 事業	空き家等対策事業	空き家の支援事業(診断・解体・活用)、 啓発、空き家情報バンクの運用など	3,222,000	助成件数 累計15件	累計9件	60.0%	○	年度目標を達成しており、KPIの達成に向けて順調。今後も、特にDランクの空き家の除却や適切な管理について、所有者や管理者に粘り強く理解を求めていくことが重要	61	
	②	住宅取得等支援事業	おいの住まい支援事業	県産材を利用した新築・リフォーム、移住者や新婚、子育て世帯が行う新築・空き家の購入・リフォーム等に要する経費の一部を助成	14,367,000	助成件数 累計150件	累計132件	88.8%	○	KPIの達成に向けて順調。今後も、HP等を活用して、町内外の方に分かりやすい情報を提供していくことが重要	63	
	③	宅地造成事業	住宅用地造成事業	・住宅用地の造成工事(石山地区) ・おい町土地開発公社において各分譲地の販売を促進	15,066,800	売却数 累計31件	累計21件	67.7%	△	昨年度まで伸び悩んでいたものの令和3年度は4件が売却されておりKPIは維持する。全区画の売売に向けて、U・Iターン希望者などをターゲットに積極的なPRを行っていくことが重要	65	
	④	健康づくり事業	健康プログラム事業、健康づくり推進事業	サポートセミナーやバーチャルウォーキングラリー、アドバイスシートの送付	5,508,512	健康寿命	男79.20歳 女85.10歳 ※R4年値	男79.47歳 女84.05歳 ※R1	男100.3% 女98.8%	○	・KPIの達成に向けて順調であり、アンケート結果等からもこの事業が町民の運動習慣定着につながっていると評価できる。 ・引き続き健康づくりの支援を行うとともに、参加者のみならず、広く町民に対して健康寿命の増進にかかる情報を発信していくことが重要	67
			健康増進事業、健康福祉支援センター運営事業	運動(ノルディックウォーキング、ストレッチ、筋トレ)に関する教室の開催	187,000							69
	⑤	生涯学習推進事業	本郷公民館活動事業 佐分利公民館活動事業 大島公民館活動事業 名田庄公民館活動事業 本郷公民館生涯学習推進事業 佐分利公民館生涯学習推進事業 大島公民館生涯学習推進事業 名田庄公民館生涯学習推進事業	公民館事業等生涯学習の推進	4,291,898	教室・講座参加者数	年間延べ7,300人	年間延べ4,837人	66.3%	△	目標の達成には至っていないものの、各公民館が、新しい生活様式を考慮した活動を模索し事業を実施した結果、前年度比の参加者数が伸びており、目標達成が期待ができる状況と考える	71
	⑥	Wi-Fi環境整備事業	Wi-Fi環境整備事業	公共施設におけるWi-Fi環境整備	10,582,000	整備箇所数	累計25箇所	累計23箇所	92.0%	○	災害時の避難所となる公共施設等へのWi-Fi整備を計画的に進めており、KPIの達成に向けて順調	73
⑦	移住就職等支援事業	移住・定住・交流推進事業(移住支援金)	一定の要件を満たすU・Iターン者を対象に移住支援金を支給	1,550,000	支援による転入件数	累計8件	累計4件	50.0%	○	・県の人口統計調査によれば、平成29年10月から令和3年10月の4か年の社会動態は△7名となっており、それ以前の4か年と比較すると、人口の社会減の幅は減少しており、町の子育て支援策や町の魅力をPRした効果が一定程度表れているものとする ・今後も、移住支援金を含めた支援制度をPRし、移住・定住者の増加につなげていくことが重要	75	
5 発信強化	①	おい町戦略的PR事業	おい町戦略的PR事業	戦略的な広報手段による町の魅力の発信	1,544,480	観光入込数	年間145万人	年間54万人	37.2%	△	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、観光入込数は目標値の約半数の約54万人となっているが、今後の交流人口拡大を見越して、ニーズを的確に把握しながらテーマや媒体を設定し、適切にPR活動を実施していくことが重要	77
	②	観光情報PR事業	観光ポスター等作製事業	観光パンフレット、冊子を作成し、高速道路サービスエリア等に設置	-	観光入込数	年間145万人	年間54万人	37.2%	△	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、観光入込数は目標値の約半数の約54万人となっているが、今後の交流人口拡大を見越して、ニーズを的確に把握しながらテーマや媒体を設定し、適切にPR活動を実施していくことが重要	79
	③	いきいきホームページ事業	ホームページ運営事業	ホームページによる町の情報発信	4,997,932	アクセス件数	年間160,000件	年間196,775件	123.0%	◎	新型コロナウイルス関連情報等を得るために、町内外の方々からHPにアクセスする機会が増加した結果、KPIを達成している。これを一過性のものとするかないように、より快適に必要な情報を入手できるような環境を整備していくことが重要	81
	④	おいサポーター登録・情報発信事業	移住・定住・交流推進事業(おいサポーター登録・情報発信)	おいサポーターの登録推進と情報発信	-	おいサポーター登録者数	500人	79人	15.8%	KPIの見直し	体験・交流活動が減少し実績が目標値を下回っている。KPIを見直すとともに、新型コロナウイルス感染症が終息したタイミングで、連携協定を締結している大学や、まちづくり政策コンテストの参加大学等に向けて制度をPRしていく必要がある	83
	⑤	ふるさと納税推進事業	ふるさと納税推進事業	ふるさと納税ポータルサイトを活用した町のPRや特産品の販路拡大	12,302,295	町外寄附者件数	年間延べ600件	年間延べ1,098件	183.0%	◎	・令和3年度は、新たに1つのポータルサイトへの掲載と22品の返礼品を追加しており、PR及び返礼品の充実を図った結果、KPIを達成している ・引き続き、制度の趣旨に沿った形で、魅力ある返礼品の追加や効果的なPRなどに取り組んでいくことが重要	85